

# 令和元年宇治田原町全員協議会

令和元年9月2日

午前11時19分開議

## 議事日程

- 日程第1 行政諸報告  
○南城市視察研修報告
- 日程第2 総務建設常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第3 文教厚生常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第4 城南衛生管理組合議会議員報告
- 日程第5 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告
- 日程第6 京都地方税機構議会議員報告
- 日程第7 その他

### 1. 出席議員

議長	12番	谷口 整	議員
副議長	1番	山内 実貴子	議員
	2番	山本 精	議員
	3番	今西 久美子	議員
	4番	垣内 秋弘	議員
	5番	田中 修	議員
	6番	原田 周一	議員
	7番	馬場 哉	議員
	8番	松本 健治	議員
	9番	谷口 重和	議員
	10番	浅田 晃弘	議員
	11番	藤本 英樹	議員

### 1. 欠席議員 なし

- 1. 宇治田原町議会全員協議会規程第5条の規定により会議事件の説明のため出席を求め  
るものは次のとおりである。

町	長	西	谷	信	夫	君
副	町	山	下	康	之	君
教	育	奥	村	博	已	君
総	務	奥	谷		明	君
健	康	久	野	村	観	光
社	部	野	田	泰	生	君
長						
建	設					
事	業					
部	長					
ま	ち	黒	川		剛	君
つ	く					
り	整					
備	推					
進	担					
長	当					
部	部	光	嶋		隆	君
長	長					
教	育	矢	野	里	志	君
部	長					
企	画					
財	政					
課	長					

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事	務	局	長	村	山	和	弘	君
庶	務	係	長	太	田	智	子	君

---

開 会 午前11時19分

○議長（谷口 整） それでは、引き続き、ご苦労さまです。

会議は、お手元に配付をしております会議日程により進めさせていただきます。

これより、議事に入ります。

日程第1、行政諸報告。

南城市視察研修報告について。山下副町長。

○副町長（山下康之） それでは、私のほうから沖縄県南城市の視察研修報告をさせていただきますというように思います。

沖縄県の南城市でございますけれども、資料もつけさせていただいておりますけれども、同じくハートのまちとしてPRを行う、そういう中での南城市の商工会の視察研修を本町に昨年の10月にお見えになったことを契機に、同じハートのまちというような中で、首長間での親書の交換も行う中で、ハートのまちを標榜する自治体間の連携を具体的に組みんでいきたいというようなことで、この8月8日から8月10日にかけて、町議会のほうからは代表して山内副議長さん、また本町のほうから企画財政課の岡崎補佐とそれから中原主事、そして私と4名で沖縄県南城市のほうに視察研修のほうを行かせていただいたところでございます。

沖縄県南城市さんは、ここは平成18年1月1日に1町3村が合併されて、合併されたことによってまちの形がちょうどハートのような形になったということで、それとあわせてそのハートのちょうど右のところにちょこっとついているんですけれども、これは1つこのまちに久高島という島がありまして、ハートの形に1つ島があるということでこの久高島というのは神の島とも言われていまして、琉球民族の発祥の地としての今も現在崇敬されているというようなところでございまして、そういった沖縄県の南城市、ちょうど人口が4万4,225人、以前と比べるとまだ人口が増えているようなまちであり、世帯数も1万7,880戸の町でございまして、沖縄県らしく市の花はハイビスカスで、南城市の木がリュウキュウコクタンということで、黒い木でコクタン、これがまちの木だということで聞いております。

そういうような、昨年お見えになったということでお互いにPRの地域の活性化につながった、つくっていききたいということで、南城市に行ってきたわけでございますけれども、南城市の市長さん、瑞慶覧長敏市長さんが、ちょうど我々の到着を出迎えていただきまして、非常に歓迎をいただきまして、非常に感謝をしたようなところでございまして、ちょうど沖縄県のほうでございまして、宇治田原のお茶をよくご存じかどう

かというのがございましたので、この方ちょっとしばらく関西におられたんで、お茶は知っておられるようでしたけれども、ちょうど急須で飲んでいただくのがどうも初めてでございまして、向こうへ行って、市長さんの部屋で宇治田原のお茶を持って行って、急須に水出しで注がせていただきました、そこにおられた市長さん、また企画部長さん等々に宇治田原のお茶を飲んでいただきましたら、何とこんなおいしいものがあったんかというような、またこういうような急須を使って飲むのかということも初めて知っていただいたようございまして、いきなり感動していただいたようなことございまして、非常に喜んでいただきまして、これもひとつ宇治田原のお茶も沖縄でまた人気になるのかなとは思いましたけれども。

そういう中で、肝心な大事な任務がございますので、そういった市長さんも快く受けていただいているとともに、今後のこともございますので、お互いに今現在の町の現状なり、また取り組むまたいろんな姿勢等々についても、意見交換をしてきたところでございますけれども、ここは先ほど申し上げましたように平成18年1月1日に1町3村が合併した形がちょうどハートだったということで、これを全面的に打ち出していこうということで、市のキャラクターがなんじい、南城市でなんじいというのを前面に出して取り組んでおられるということで、市長さんもおっしゃっていましたが、うちがハートのまちとして打ち出して調べていたら、京都の宇治田原町さんもえらいハートのまちとして前に出されているというようなことで、一遍視察行かせてもらおうかというようなことで来られたようなところもあったようございまして。

そういう中で、ちょうど南城市さんの市の庁舎は、高台のところに今年の5月にオープンされた立派な施設でございまして、ここは昔からやっぱり台風なり、また雨等々の非常に多い地域でも、亜熱帯的なところでもございましたので、そういった状況であったけれども、やはり東日本大震災の津波を教訓として、今現在新庁舎が非常に高台のほうに持ってこられたということで、立派な庁舎にあわせて、駐車場も十分にあったわけでございますけれども、そういう中でもやはり防災の拠点の整備をしたいということで、今現在2,000台の車がとめられる駐車場を建設されているというようなところございまして、いざというときにここが市民の方のそういう避難所にしていきたいと、こういうようなことも踏まえて、下水道、水道もそこへ持っていけるようにやっておりますというようなまちでございました。

そういう中で、まちのいろんなところへご案内させていただきましたけれども、今年の10月に来られて、本町の下水道のマンホールにハートの形を製茶場のほうでつくっ

ていただいた、これをお勉強して帰られた経過があつて、もう早速それを生かして向こうの南城市のマンホール、ハートのちょっと張りつけでございましたけれども、もう早速ハートのマンホール、形は丸でございますけれども、中にハートのデザインを入れて、もう早速使われているというようなところでございました。非常に庁舎の中でも、まちの案内とか、いろんなところにハートを使っておられて、市長さんも昨年お越しいただいた方も報告されたと思いますけれども、本当に京都の宇治田原町さんも本当に親切な町でよかったというようなご報告も受けていただいておりますので、非常に我々も大歓迎していただく中で、そういった情報の交換、そういう中でやはりその双方の町のPRと地域につながる大事なことがございますので、そういう中で、市長さんとも今後の展開に係る具体的なお話もさせていただいたところでございました。それぞれハートのまちとして全国的な発信に向けた自治体等々のこうした手法の検討について、一緒に力を合せて、包括的な内容を謳う連携協定をして、お互いに町のまちづくりに向かって取り組んで行こうやないかというようなことも市長さんのほうからおっしゃっていただきまして、非常に心強く感じたところでございました。またその企画部のほうが担当していただいたんですけれども、非常に懇切丁寧にいろんないろんな沖縄県のそういういろんな南城市の観光のスポット的なところにもご案内をさせていただいて、本当に親切に対応していただいたことに感謝をしているようなところでございます。そういう中で、なかなか職員の皆さんも非常に沖縄らしく、入っていくと服装から違うんで、玄関、入り口のところで職員の方がみんな立って、市民の方を迎えておられるというような、そして服装もかりゆしというアロハシャツ的なああいう沖縄独自のかりゆしを着て、対応されると。先ほど言いました、久高島、ここは約200人の方がおられて、そこには市と連絡するものが、直接証明書が要る場合は、本島のほうに来て、どうもフェリーで来られたりしておられるようでもございましたけれども、ここは200人の方がおられるというようなことでございました。

そういった中で、ほんとうに3日間行かせていただいて、私も四十数年前に行ったときの沖縄とは大きく変わっておりまして、本当にいろんな面でも活躍されているとともに、非常に観光客の方も、私初め結構アメリカ等々の方が多いのかなと思っておりましたけれども、やっぱり東南アジア系の方がたくさんおられたような感じもいたしました。

そういった成果を踏まえまして、先ほど申しましたように市長さんも非常に快くしていただいております、ともにまちづくりに頑張りましょうということもおっしゃっていただきましたので、今後本町といたしましても、継続した交流をしていく中でやはりハート

のまちを全面的に一緒に出しながら、また本町のまちづくり、そういったところの中も整理していくとともに、今後そういった包括的な協定を結べるように取り組んでまいりたいというふうに思いますし、またこういった沖縄県でございますので、本町の中学生等々につきましても、こうした訪問交流、こういったことができるように今後も引き続いて進めてまいりたいというふうに思うところでございます。

今、資料のほうも回らせていただいておりますので、また見ていただいたら非常にありがたいと思いますけれども、ここの南城市は海と緑と光あふれる南城市ということでやっておられますので、非常にいいまちに行かせていただいて、本当に感謝をいたしているとともに、今後うまく連携しながらお互いにハートのまちを全面的に出して、お互いの町が発展できるように、今後も引き続き取り組んでいきたい、このように思います。

以上をもちまして、研修の報告とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

○議長（谷口 整） 沖縄の南城市につきましては、議会のほうからも山内副議長に行ってもらっておりますので、副議長のほうからも簡単をお願いをしたいと思います。

○副議長（山内実貴子） ただいまご報告ありました南城市の視察のほうに、私も行かせていただきましてありがとうございます。

今、ご報告がありましたが、南城市のほうはハートのマークに合併した4つの町村と久高島という1つ、その4つと1つの島をつけてロゴマークにされています。本当にいつも4つと1つの島が1つという思いを持っておられるように感じました。

また、その形の地形のハートだけではなくて、本当に心のハートも大切にされているなというふうに感じました。例えば、今、京都で言いますと、八幡市が真竹とエジソンのつながりで、アメリカのオハイオ州マイラン村との交流を続けておられたり、宇治市がカムループス市との交流をされているように、本町も南城市とハートのつながり、またハートのつながりだけではなくて、同じ日本の中で先の戦争で地上戦を経験されておられる沖縄という場所である南城市との交流ということ、住民の皆さん、また子どもたちが本当にこれからそういう平和への思いを大切にしたり、生きていく上での広い視野を持てるような、そういう交流になればいいなというふうに思っております。

また、ハートのまちとして、本町も本当に一生懸命今取り組んでいるところですが、さらにハートのまちとしての取り組みが目に見えてあふれるハートフルな宇治田原町を手づくりでいいので、皆さんとともに、私たち議員もしっかりと取り組んでいきたいなと思いました。

以上です。ありがとうございました。

○議長（谷口 整） ただいまのお二人の報告について、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようですので、次に、日程第2、総務建設常任委員会視察研修委員長報告についてを議題といたします。谷口委員長。

○総務建設常任委員長（谷口重和） それでは、私のほうから総務建設常任委員会視察研修報告をさせていただきます。

報告書を配付していただいておりますので、簡潔に報告をいたします。

令和元年7月4日（木）、5日（金）の2日間にわたりまして、広島市安佐南消防署において、女性消防隊についてを、また、神石高原町において、超高付加価値農業（J I N（神）ブランド）、有害鳥獣対策・農業政策についてを研修してまいりました。

参加者につきましては、総務建設常任委員会委員6名と随行2名、計8名でございます。

まず、初日、広島市安佐南消防署女性消防隊につきましては、人口119万人の政令指定都市である広島市安佐南消防署において、快くお引き受けをいただきまして、原田消防長や団長、女性消防隊長、消防団室長に迎えられ、女性消防隊について及び被災状況（現地視察を含む）についてご教示いただきました。

研修内容につきましては、お配りしている報告書のとおりでございます。ご覧おき願いたいと思います。

2ページの最後に、所感を入れておりますので、読ませさせていただきます。

広島市女性消防隊を視察して感じたことは、ふだん仕事を持ちながら、自分たちのまちは自分たちで守るという自主防災の精神を共有し、活動されていることに共感いたしました。いざ災害が発生して避難所運営となると、子どもからお年寄りまで多種多様な方が一堂に会している場を取り仕切ることとなり、必ず女性の目線というものが必要となっておりまして。女性ならではの細やかな気配りや親身な相談活動は、被災者にとっては頼りになる存在だと感じました。

本町においても、自主防災会、消防団、後方支援隊などが組織化されている中で、女性の目線、意見が反映できる組織として設立することができれば、より安心・安全なまちとなるのではないかと感じた視察でありました。

次に、神石高原町におきましては、松本議長様を初め、担当課の職員に迎えられ、超高付加価値農業（J I N（神）ブランド）について及び有害鳥獣対策・農業政策につい

て、ご教示いただきました。

こちららも研修内容につきましては、お配りしている報告書のとおりでございます。ご  
覧おきをお願いいたします。

4ページの最後から所感を入れておりますので、読ませていただきます。

神石高原町では、J I N（神）ブランド、有害鳥獣対策・農業支援施策について視察  
研修を行いました。

J I N（神）ブランドについては、神石高原町で輝くもの・ひと・ことなどで、特に  
すぐれたものをプレミアムブランドJ I N（神）として認定されているが、「もの」だ  
けでなく、「ひと」や「こと」などにも認定されており、わかりにくく申請しにくいと  
いった問題もあるようで、今後の課題であると感じました。

有害鳥獣対策では、イノシシの被害が最も多く、猿や鹿などは、まだ森林に餌となる  
広葉樹や果実があるようで被害が少ないようでありました。里守り犬については、本町  
でも導入が検討されているモンキードッグともども、今後も関係機関と連携しながら検  
討し、取り組む必要があると感じました。

新規就農支援事業については、トマト生産農家に力を入れている様子であり、2年間  
で栽培技術や営農計画、労務管理などを習得できる研修を実施されており、これからこ  
の地域で就農しようとする志を持っている方々にとっては、有意義な施策であると感じまし  
た。

本町においても、今後、特産品であるお茶やハート米のブランド化を検討し、さらな  
るまちの発展につなげていかななくてはならないと感じた次第であります。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（谷口 整） ただいまの報告につきまして、何かございませんでしょうか。今西  
議員。

○議員（今西久美子） 1ページ目の参加者のところですが、私もまいりましたので、名  
前の追加をしていただきたいと思います。

（「山本委員のところは今西委員」と呼ぶ者あり）

○議員（今西久美子） 私、行きました。

（「ミスプリかいな」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） 今の件については、訂正をしていただくように申し入れておきます。  
ほかにないでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）



○議長（谷口 整） 次に、日程第3、文教厚生常任委員会視察研修委員長報告についてを議題といたします。原田委員長。

○文教厚生常任委員長（原田周一） それでは、文教厚生常任委員会の視察について報告をさせていただきます。

実施日は、令和元年7月11日から12日にかけて、富山県朝日町それから石川県内灘町の2町について訪問いたしました。

参加メンバーにつきましては、文教厚生常任委員会全員及びオブザーバーとして議長、それから行政のほうから事務局で太田係長、それから健康児童課長の立原課長が同行していただきました。

富山県朝日町、これは1日目なんですけど、ここは富山県の一番東の端に位置しまして、ほぼ新潟県と隣接しているまちでございます。ここは、現在人口1万2,000人ということでしたけれども、富山県トップの高齢化率で、42%を超えているというようなまちでございます。

事前に質問について通告しておりまして、ほとんどがシルバー人材による買い物支援というのをやっておりまして、また町立病院、これを持っているということで、大体この2点のテーマについて質問が集中したというようなことでございます。

買い物支援につきましては、昭和29年8月の合併、人口約2万4,000人で誕生したまちでございますけれども、現在はその半分の1万2,000人の人口であるということで、このシルバー人材が実施団体となって交付金を受けて事業を開始し、車2台で3人の体制でスピーカー、冷蔵庫などを完備して、商品ロスについても、これについて大変質問が集中したんですが、シルバー人材の事務所が、町内にあるショッピングセンターの中に事務所があるということで、一応各公民館を回られて行商されているんですが、余ったら返すということで、商品ロスが全く発生していないというようなお話でした。これが、定着してきまして、現在は、御用聞きまでして、その食料やら家庭品以外のものでも、地元の注文が受けたらそれも配達しているというようなことと、それから同時に見守り活動もしているということでございます。そのために、シルバー人材なんかの担当部署としては、高齢者を所管する健康課になっているということでございます。

それから、あさひ総合病院なんですけど、これは、朝日町は約4,800ぐらいの世帯なんですけれども、町立病院で、現在109床でございます。運営は、町職員の340人中、病院関係者156人ということで、約半数近い職員が病院の職員であるというご説

明でございました。

病院経営は、単独会計で独立採算ということなんですけれども、病院があるということで、交付税が入っているということで、総合病院では15科あり、12名の常勤医師が勤務されているということでございます。

その採算のことなんですけど、この病院は人口5万人をカバーしており、隣の新潟県なんかも、また隣町の住民も利用しているということで、救急にも24時間365日対応している病院であるということでございます。

医師の確保については、富山大学の医学部、こういったところと提携、研究助成なんかをして、医者への派遣を受けて、病院の稼働率は現在90%台で推移していると。また、看護師の問題につきましても、京都看護大学と連携して確保していると。公立病院としては、多くの自治体病院が赤字の中で、収支がとれていて、一般会計からの繰り出しなんかはないということの説明でございました。

それと、もう一つ、話の中で、敬老会、これは町全体でやるのではなくて、各自治会ごとにやっているということです。開催場所、日時については、地区ごとに決めて、地域から大変近いんで、参加しやすいというような声が出ているというご説明でございました。

所感としましては、富山県全体で民生委員などの充足率は100%、地域性もあると思うんですが、住民が積極的に地域福祉の活動にかかわっているということで、今後本町でも一考の余地があるんじゃないかというふうに感じました。

それから、2日目に石川県内灘町のほうに訪問しました。

ここにつきましては、金沢市と面しておりまして、東西3キロ、南北10キロ、非常に細長いコンパクトな町で、その中に人口が約2万6,600人おります。金沢市と隣接しているということで、ベッドタウンとして今日に至っていると。町内には、金沢医科大学なんかがあって、特にこの挨拶の中で強調されましたが、日本で最初の米軍基地の反対闘争、これ内灘闘争というらしいんですけれども、内灘海岸で反対闘争されたという歴史がありまして、先人たちはこの町を守っていかうということで、現在まで合併はしなかったということでございます。

非常に、先ほど言いました若い町で、15歳未満の人口が3,500人ほど。平成30年の出生数は、188人。27年度より200人を切る状態であるということなんですけど、それでも188人の新しい出生率があるということです。

それから産休、育休後の0歳から2歳児の保育園の入所率が高く、約70%であると

いうことをごさいます。

それと、石川県のほうでは、マイ保育園登録制度といいまして、入所前から保育士などによる育児相談や一時保育の利用ができる制度で、事前登録をしているということで、ほとんどのこの制度によって待機児童は出していないということです。

それから、保育士の確保ということなんですけれど、一応国の基準の充足率を大きく上回る確保ができていると。それから、各私立の保育園含めて、全ての保育園で看護師が配置されているということをごさいました。

保育施設につきましては、町立、私立で9施設ありまして、定員1,122名で、4月当初の実績は1,049名、大体年度末は1,128名ぐらいで、少しオーバーするぐらいになっておるみたいなんですけど、ほぼ100%ということです。広域入所は、そのうち56名ということで、特に注目、興味を持ちましたのは、延長保育がほとんどで8時。それと1カ所で10時、夜までやっているということをごさいます。これは、金沢医科大学があるということで、看護師さんとか医師とかいう、そういった向けのところが子どもさんが対象であるというようなことをごさいました。

それから、保育料につきましては、町独自の軽減制度によって、保護者の負担軽減が図られていて、大体3歳以上は国基準を下回る金額で設定されているというようなことでした。

今後無償化が始まりますと、この国基準を下回る分の町負担が、大体軽減されていくということで、財政的にもちょっと安心やというようなことはおっしゃっていました。

それから、所感としましては、町人口は宇治田原町の3倍近いですけども、金沢市のベッドタウンということもあって、先ほども言いました、非常に若い世代の多い町で、町内の金沢医科大学を核とした子育て支援施策をとっているということをごさいます。

それから、総評としましては、両町とも公立病院があって、それらと連携して行政を推進しているという印象を受けました。

高齢化が進む本町においても朝日町の買い物支援のあり方は、今後関係団体との協議の必要性を感じました。また、内灘町のほうでは、ここには記載してませんが、議員定数が13名ということで、奇数なんです。先日沖縄の議会で、同数やと、議長とのかどうのこうのというような議会があったようなんですけど、そういった部分からもまた議運等で一考の余地があるというふうに感じました。

高齢者施策及び子育て支援に関しての委員会各議員においても、有意義な研修であったというふうに思いました。

以上でございます。

○議長（谷口 整） ただいまの報告につきまして、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようですので、次に、日程第4、城南衛生管理組合議会議員報告についてを議題といたします。馬場議員。

○議員（馬場 哉） それでは、城南衛生管理組合議会報告をさせていただきます。

平成31年度3月27日に2月城南衛生管理組合議会定例会が招集されました。原田議員と私のほうが出席をしております。

審議内容ですけれども、議案第4号、平成31年度城南衛生管理組合一般会計予算、予算総額46億3,523万9,000円、対前年度比4,135万8,000円の増でございました。この議案は可決をいたしました。

次に、議案第5号、前任の専任副管理者の任期の満了に伴いまして、新たに専任副管理者の選任同意を求める件について、野村賢治氏が推薦をされまして、これについて同意をいたしました。

以上で、31年2月定例会は閉会をいたしました。

続きまして、令和元年度6月4日、6月城南衛生管理組合議会臨時議会が招集をされまして、原田議員と私が出席をしております。

これは、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の一般選挙後の初議会で議会構成が変わりましたので、招集をされたものでございます。議会の議長には、松峯議員（宇治市）、副議長には、小北議員（八幡市）が決まりました。

続きまして、議案第6号、監査委員の選任同意を求めることについて、城南衛生管理組合議会の相原佳代子議員の推薦がありまして、これについて同意をいたしました。

以上で、6月の臨時会を閉会し、今後廃棄物（ごみ・し尿）処理常任委員会、また議会運営委員会には原田議員が、総務常任委員会には私馬場哉が出席をすることといたします。

以上で、報告を終わります。

○議長（谷口 整） ただいまの報告につきまして、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようですので、次に、日程第5、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告を求めます。浅田議員。

○議員（浅田晃弘） それでは、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告をさせてい

たきます。

令和元年第2回定例会が行われました。その概要でございます。

1、開会日が8月9日。閉会日も同日8月9日でございます。会期1日で行いました。出席数は出席27人、議決結果につきましては、別紙で提出いたしておりましたが、都合上裏面でございます。裏面に議決結果が載っております。

そして、先ほど城南衛管のほうでもありましたように、一般選挙が行われた関係から参考でございますけれども、議長がかわっております。なお、当日は京都府町村議会広報編集正副委員長研修があった関係で、議会広報紙のクリニックを受けるための発表を行わなければならなかったため、私のほうは京都府後期高齢者医療広域連合議会を欠席としました。

以上、報告します。

○議長（谷口 整） ただいまの報告につきまして、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようですので、次に、日程第6、京都地方税機構議会議員報告を求めます。藤本議員。

○議員（藤本英樹） それでは、私のほうから京都地方税機構議会のほうのご報告を申し上げます。

令和元年8月3日にルビノ堀川のほうで、定例会のほうが開催されました。

まず、最初に正副議長の選出ということで、議長に秋田公司京都府議会議員、副議長に中村麻伊子宇治市議会議員が選出されました。

次に、第1号議案として、京都地方税機構第3次広域計画の変更ということで、機構が処理する事務として、償却資産に係る固定資産税課税事務を追加するほか、税制改正に対応して本年10月からの自動車税及び軽自動車税の環境性能割・種別割の導入並びに特別法人事業税の創設等について、当機構広域計画についても必要な変更を行うものということで、賛成多数で可決いたしました。

次に、第2号議案としまして、京都地方税機構事務の処理等に関する条例一部改正の件ということで、広域計画同様、関係条例について規約変更に伴う所要の改正を行うものということで、こちらのほうも賛成多数で可決いたしました。

最後に、第3号議案としまして、平成30年度京都地方税機構一般会計歳入総額24億9,023万5,517円、歳出総額24億8,871万3,005円の決算認定を求めるものということで、こちらのほうも賛成多数で可決いたしました。

以上でございます。

○議長（谷口 整） ただいまの報告につきまして、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようですので、次に、日程第7、その他を議題といたします。

その他、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） 当局側から何か。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口 整） ないようでございますので、これにて全員協議会を終わりたいと思います。

なお、最終日の9月27日においても全員協議会を予定しております。町当局より行政諸報告等について報告を願うことにしておりますので、調整等についてよろしく願いをいたします。

以上で、全員協議会を終わります。

閉 会 午後0時01分

宇治田原町議会全員協議会規程第8条の規定によりここに署名する。

議 長 谷 口 整